

桜を巡る

信州中野に春が咲く

長い冬が終わりを告げ、降り注ぐ日差しが暖かさから日に日に春の息吹を感じます。信州中野に春の訪れを告げる桜の開花。桜の蕾がはじけるそのたびに、一気にほかの花々も咲き出し、市内は百花繚乱に包まれます。

桜の楽しみ方は人それぞれ。花の色の違いを見て楽しむ方法もあれば、名所を巡る楽しみ、お気に入りのお花を見つけた楽しみなど十人十色。中野の桜の素晴らしさを知って、自分だけの「桜の楽しみ方」を見つけるにはみませんか。

東山公園



眼下に市街地を眺め、北信五岳を遠望できる東山公園は、園内に今昔物語に登場する如法寺や、崖の上に欄干を張り出した懸崖造りの観音堂など、いたるところに歴史の香りを感ずることができる。

桜の名所としても古くから有名で、明治時代の頃からは「観音さんの桜」とも呼ばれ、現在も市民の憩いの場となっている。桜の時期には遊歩道を含んで約1きにおよぶ園内に、約500本の桜が咲き誇り、桜を待ち望んだ方で賑わいを見せる。



東山桜まつり

日程 4月20日(日)
午後0時30分から

主催 東山観光協会

当日は、日本舞踊や太鼓演奏などのほか、カラオケ大会が開催され、飛び入り参加も可能。桜の開花期間中は、ぼんぼりが灯され、夜桜を楽しむこともできる。
また、花見小屋や屋台では名物「あげまんじゅう」が販売されるため、花より団子という人にはそちらもオススメ。



▲弘法桜 (弘法の泉のせ
脇で雄大な姿を見せ
るこの桜は、大同2年
(804年)に弘法大師
がこの地に草庵を結ん
だ時、さした桜の杖か
ら芽が出て大きくな
たと伝えら



東山観光協会
町田幸雄さんの
おすすめスポット



▲月の兎が待つ「巡り
会いの丘」は、満開の
桜と夕日が絶景です。

昭和60年頃から開催している「桜まつり」は、東町区、普代区、東松川区の皆さんで組織される東山観光協会が主催となって活動している。
東山公園観光施設の整備・拡充・保全に力を入れ、古い枝を切るなど桜の手入れも行っている。東山観光協会の町田幸雄さんは、「市民の憩いの場としてふさわしいように、観光施設を整え、大勢の方の心の潤いにしてもらいたい」と話す。地元を愛する人たちが育てた桜が、今年も満開の花を咲かせようとしている。

高梨館跡公園



戦国時代に中野地方を支配した武将、高梨氏の居館跡が残る高梨館跡公園。高梨氏館跡は平成19年2月に国指定史跡となり、周囲・園庭に土塁や稲荷社、井戸跡など多くの歴史が残る。この公園内には、市内でもいち早く花を咲かせ、春の訪れを告げる10本の**タカトコヒガンザクラ**がある。この桜は「天下一の桜」と称される伊那市の高遠城址公園に植えられているものと同じもので、平成6年に旧中野市政施行40周年を記念に旧高遠町より特別に寄付され植樹を行った。信州中野に、今年も「天下一の桜」が春を運んでくる。



▲関山国師(無相大師)生誕の地にちなみ、高梨館跡公園前の駐車場から道路の脇に**カンザンザクラ**が東町区の皆さんによって植樹されています。園内より一足遅く咲くこの桜も、ぜひご覧ください。



信州なかの観光協会
保科陽子さんの
おすすめスポット

高梨桜まつり

日程 4月13日(日)
午前10時から

主催 高梨桜まつり実行委員会

当日は、子どもから大人まで楽しむことができるアトラクションが開催されるほか、屋台ではお菓子や飲み物が販売される。整備された公園内では、咲き誇る桜の下にシートを広げ、頭上いっぱい広がる桜の景色を楽しめる。